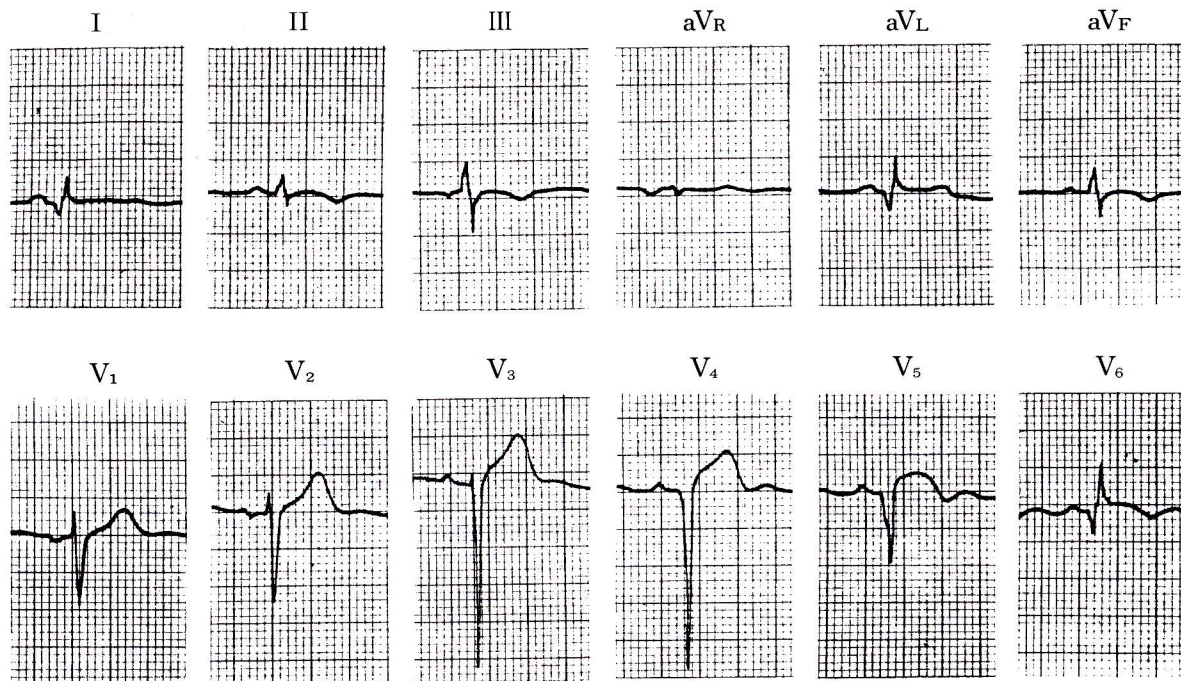


症例 43

●58歳 男

●胸痛を主訴として入院した。入院1週間目の心電図である。



1) 梗塞の部位はどこか。

側壁(～前壁)梗塞(亜急性期)

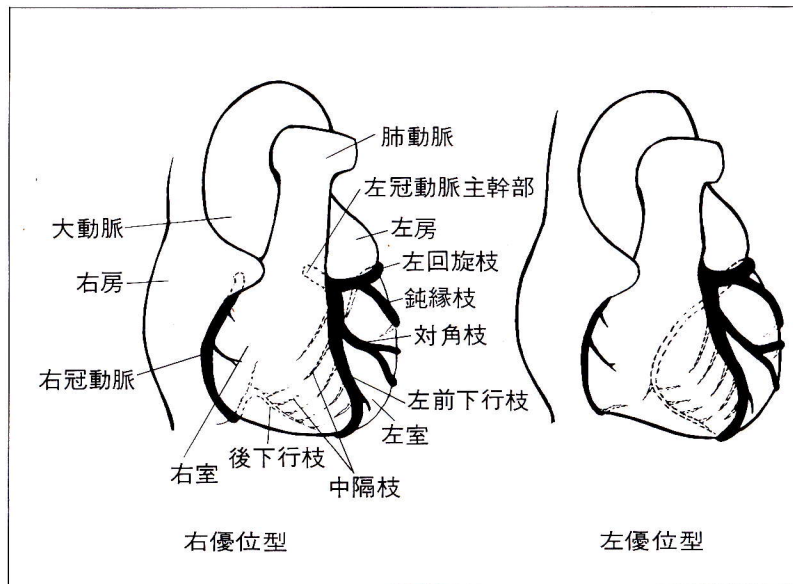
I, aVL, V₆に幅広い異常Q波, V₁からV₃にかけてのr波高の漸減, V_{4,5}にQSパターンがみられ, aVL, V₃, V₄で軽度のST上昇, V_{5,6}でST上昇(上に凸)にT波終末部陰転のパターン。

これらの所見は急性期～亜急性期の梗塞心電図であり, 異常所見のみられる誘導部位から側壁から前壁にかけての広範な梗塞と考えられる。V₁に陰性P波がみられるが, 左心性Pをとるほどではない。

MEMO

〈梗塞の部位と支配血管〉

冠血管の走行には個人差が大きいので、梗塞部位から支配血管を決定する場合には、各個人の冠血管走行パターンがわかっていなければならない。しかし、頻度別にいえば、下壁梗塞は右冠状動脈(右優位型の場合)ないし左回旋枝(左優位型の場合)、前壁中隔梗塞は左前下行枝、側壁梗塞は対角枝、高位側壁梗塞は鈍縁枝、後壁梗塞は左回旋枝の障害によって生じることが多いようである。



代表的な冠動脈走行パターン